



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

公益財団法人 友 愛

〒112-0002

東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文天ビル2階

TEL:03-5684-3188

FAX:03-5684-3186

E-Mail:you-i@yuai-love.com

http://yuai-love.com

編集人：羽中田元美

隔月1回 10日発行

会 費(4月～3月)

個人／3,000円以上

法人／10,000円以上

明けまして おめでとうございます

国内の政治経済状況も、また世界の情勢も平穏無事とはとても言い難い状況の中、能登半島地震とJAL機と海上保安庁機との衝突という、誠に信じ難い年明けとなつてしまいました。亡くなられた方々のご冥福と、被災された方々へのお見舞いを申し上げます。ただJAL機の乗員の皆さまが全て無事に生還されましたことは奇跡とも呼べる快挙でありました。

今年も機関紙「友愛」を手にとってくださいましたみなさまのこの一年が、穏やかでありますようにと、まず冒頭心より願います。

昨年は祖父鳩山一郎が日本の若者たちに友愛精神を広めようと「友愛青年同志会」を立ち上げてから70周年でした。その間、幾度か名称を変更いたしました。名称から「青年」を削除せざるを得なくなるほど、年輩者中心の組織となった時期もありました。その後、事務局の努力の下で公益財団化が認められ、昨年の7月、公益財団法人「友愛」として70周年の記念式典を、祖父が建設した今年100年を迎える鳩山会館で行いました。

ハイライトは祖父の孫にあたる渡邊康雄氏による『希望の道』のピアノ演奏でした。ピアニストであり指揮者でもある渡邊康雄氏が、ご自身で作曲し、演奏してくださいました。5分ほどのピアノ曲の中に、苦難の時代も友愛で希望の道が開かれるとの思いが込められているように感じました。

さて、その「友愛」の活動ですが、一条の希望の光が差し込んできているのは事実です。

それは若者たちの積極的な参加です。理事や評議員に従来よりもかなり若い世代が加わってくれるようになり、「友愛」の事業に中心的な役割を果たしてくれるようになっていくことです。

コロナは終息に向かいましたが、相手国の状況の変化などで必ずしもすべての事業が順調に進捗している訳ではありません。その様な状況のなか、それぞれ事業担当の若い世代の理事たちが責任をもってその任に当たってくれています。

中でも順調に再開しているのはOEJAB（オースト

新春巻頭言

若者の活躍に期待

理事長 鳩山由紀夫

リア勤労青年連盟)への交流事業で、昨年度の事業として一昨年9月に5名、昨年3月に12名をOEJABに派遣しましたし、今年度の事業としてこの3月にはさらに6名を派遣することになっています。彼らは友愛精神の祖クーデンホーフ・カレルギーの故郷オーストリアで友愛精神を体験してきますので、帰国した後も私どもの友愛の事業に強い関心を持ってきています。

彼らが中心となって友愛ユニオンの会(友愛派遣員OB会)を結成してくれています。友愛ユニオンのみなさんは難民問題や気候変動問題、また医療改革問題などに関心を持ち、取り組み方を模索しています。彼らの意見を取り入れて、「友愛」事業に幅を持たせていくことができる日が、遠からず来るのではないかと期待しています。

ミャンマーの農業青年の研修事業は未だに国情が不安定ではありますが、東京農工大と連携して一人受け入れることを実施したいと考えています。

日本語を学ぶ大学生に対する小論文コンテストは、中国の他に韓国で実施することになるかと思っています。昨年9月に名誉行政学博士号をいただいた全州大学の朴学長に12月に再びお目にかかり、担当の携上理事から趣旨、実施内容を説明したところ、朴学長より友愛の重要性を認識しており、是非実施したいとの発言をいただきました。

日中韓の青年たちに友愛の心が広がることにより、東アジアが不戦共同体に近づくことを大いに願ってやみません。

同じ民族同士のウクライナとロシアの戦争は未だに終息していません。イスラエルのガザ侵攻も壮絶を極めていきます。ハマスにはパレスチナ政府の力を削ぐため米国からの支援が続いていたとのことです。即ち、米国は同じ民族を戦わせて力を削ぐことを狙っているとも言われています。台湾有事を煽ることもその一環とも考えられます。日中韓が友愛で繋がることで、台湾有事を避け、東アジアが二度と戦火に見舞われないようにしようではありませんか。

「友愛」の使命は果てしなく大きいのです。是非「友愛」の活動に参加していただきたいのです。

2023年度 O E J A B 派遣員

個性豊かな6名が綴る「期待と抱負」

―友愛勉強会を終えて、「友愛」についても考えをまとめました―

中央大学 法学部2年

已上 小楽咲（みかみ さらさ）

この度は、2023年度 O E J A B 派遣学生に選抜していただき、心より感謝申し上げます。今回の派遣を通じて、私は難民に対する若者の立場を日独オーストリアで比較し、共生社会の実現に貢献するための第一歩を踏み出します。

昨夏にドイツを訪れた時、若者が主体となって難民排斥を訴えるデモ活動が行われている現状に衝撃を受けました。背景の1つとして、ウクライナからの難民流入による欧州先進国での雇用減少を危惧する若者の増加が挙げられます。

これを踏まえ、同じドイツ語を話し地理的にもよりウクライナに近いオーストリアの若者は、ドイツの若者と互いに影響を与えている可能性があると考えました。そこで、オーストリア



已上 小楽咲さん

千葉大学 医学部6年

金子 紗也佳（かねこ さやか）

この度は O E J A B 派遣員に選抜していただき、ありがとうございます。このような貴重な機会をいただき、大変光栄に思います。

私はプライマリヘルスケアや医療格差に興味があり、将来は健全な社会、平和な世界のためにグローバルに貢献できる医師になりたいと思います。そのため、本派遣では社会保障、多文化共生について学びたいと考えています。

大学時代、米英への医学留学や海外医学生と関わる中で、医療と社会問題は密接していることを痛感しました。

医療格差の是正には、まず根本的な社会問題の解決が必要です。そこで、難民施設や国連機関等訪問を通じて、根底となる社会問題について幅広い見解を吸収したいと思います。



金子 紗也佳さん

九州大学 共創学部3年

三浦 愛佳（みうら あいか）

始めに、2023年度 O E J A B 派遣員としてご選抜頂き、私個人ではなし得ない、貴重な学びや経験の場を頂きましたことを大変うれしく思います。

さて、12月の事前研修では、講義や講演を通し、本事業に必要な基本的考え方を身につけることができました。議論の中心であった「友愛」という理念について、「個々が自立したうえで相手を尊重して思いやりの心を持ち、自分にできること・相手が必要としていることをする」とことだというように理解しました。

事前研修を終えた今、現地に派遣で学びたいことは主に二つあります。

まず、一つ目が、私の興味分野への「友愛」の応用についてです。私は、教育分野で様々な勉強・活動をしており、外国人への日本語教育支援の不足、医療的ケア児や不登校児への教育機会の不足、障害児への画一的な教育に懸念を抱いております。こうした課題は、個人や家庭、国などの単位で解決が図られること



三浦 愛佳さん

強することで、日本で生きる者として考えるきっかけにしたいと考えています。様々な知識や考え方を持

東京大学 理学部4年

出倉 正啓（でくら まさひろ）

午前の研修会では、友愛理念とは何か・友愛理念の歴史とヨーロッパ統合とのつながり・理念の日本への輸入を中心に学んだ。フランス革命の際にはその萌芽がみられた友愛という言葉は、20世紀前半にクーデンホッフ・カレルギー伯が全体主義に対する防波堤としてその理念を唱えることとなる。

友愛は自由・相互扶助とともに自由民主主義の成熟へのキーワードとなり、この思想をもとにした戦間期のパン・ヨーロッパ運動は現在の E U 統合の理念の根幹となっている、とのことだった。

この思想を日本に導入した一人が鳩山一郎であり、相互尊重・相互理解・相互扶助をもって友愛であるとして解釈した。格差が拡大し社会の寛容性が低下してきた昨今の社会において、他人との相互関係を重視する友愛思想は社会の潤滑油となりうる考え方だと思う。N G O や N P O の資金制度の緩和も、この思想が根底にあるということ学んだ。数年前



出倉 正啓さん

北海道大学 農学部4年

矢野 由佳(やの ゆうか)

この度、OEJAB派遣学生に採択していただきまし
た北海道大学農学部4年
の矢野由佳です。貴重な機
会をいただき大変光栄に存
じます。事前の勉強会では
多方面に専門性を持ちつ
つ、それを社会に還元しよ
うとする崇高な志を持った
方々にお会いすることがで
き、多くの刺激をいただき
ました。オーストリア派遣
のその当日まで自分も知識
を深め、より多くのことを
吸収できるよう成長したい
と感じています。

「友愛」と聞くとなんか想像されるでしょうか？誤解を恐れずに申し上げますと、初めにこの言葉を聞いた際、何かの強い信条や思想を表すもののように聞こえました。勉強会において「自由・平等」と並列して「友愛」が語られた際、私は友愛をよりジェネラルな言葉として捉える必要があると感じました。自由や平等は特定の人に限定される

「友愛」と聞くとなんか想像されるでしょうか？誤解を恐れずに申し上げますと、初めにこの言葉を聞いた際、何かの強い信条や思想を表すもののように聞こえました。勉強会において「自由・平等」と並列して「友愛」が語られた際、私は友愛をよりジェネラルな言葉として捉える必要があると感じました。自由や平等は特定の人に限定される

東北大学大学院 工学研究科修士2年

大野 誠尚(おおの まさたか)

「技術と社会の架け橋として世の中に貢献したい」という想いから、私は理系から総合商社を志し、修士課程修了後の来年から働く予定です。まだまだ若輩者ですが、これまで研究活動を通して自身の専門性(技術)を高めてきました。一方



大野 誠尚さん



矢野 由佳さん

を経て感じました。フランス革命におけるスローガン「自由・平等・友愛」では、「自由」と「平等」のトレードオフを補完する存在として「友愛」が掲げられています。同様に「技術」と「社会課題」を補完する存在が「友愛」なのではないかと感じました。自身を利するだけでなく、国家を利し、かつ社会を利する」ことを可能とする技術・事業開発が重要だと思っています。そのような技術・事業開発を行うためには、真の社会課題を把握する必要があります。

真の社会課題を知る方法として、当事者からの1次情報が必要です。友愛の研修プログラムでは、難民救済事業等エヤップ運営施設を訪問し、直接お話をできると伺っています。そのため本プログラムを通し、社

鳩山会館を見学 鳩山一郎先生の銅像の前で。小春日和の日差しを受けて、全員で記念撮影



2023年度OEJAB派遣員事前研修会

友愛ユニオン勉強会・友愛ユニオン懇親会

クリスマスを前に賑やかに開催

講師に田中聡司さんをお迎えして

平和の大切さを被爆体験とともに

12月23日(土) 友愛サロンにおいて、2023年度に選考された派遣員の事前研修会が開催された。

戸澤英典教授、谷藤悦史名誉教授、西川伸起理事の講師3名が、貴重な資料と共にクーデンホッフカレルギー伯とヨーロッパの歴史についてまた、友愛とOEJABとの関係について、それぞれ講義を行った。谷藤名誉教授による友愛理念についての講義は、各人各様の友愛を構築するきっかけとなった。

「友愛ユニオン」勉強会では、新旧のユニオンメンバーが一堂に会し、講師にお招きした広島被爆者団体

代表の田中聡司さんから、貴重な被爆体験を基に、平和についての講義を受けた。田中さんのとつとつと語る口調の奥に潜む力強い平和への信念が伝わり、皆熱心に耳を傾けていた。

いよいよお待ちかねの友愛ユニオン懇親会となった。仕事の都合で、三々五々駆けつけるメンバーもいて、会場は徐々に熱気に包まれていく。新たなメンバーともすぐに打ち解け、友愛ユニオンならではの和やかさが会場を包む。鳩山由紀夫理事長を囲み、想いの丈を訴えたり、最近の様子を報告したり、いつまでも笑い声は絶えなかった。

編集後記

◆友愛事務局の4階に「友愛資料室」ができました。クーデンホッフカレルギー伯初版本、鳩山一郎先生の『自由と人生』初版本など、貴重な書籍をはじめ、機関紙「友愛」の創刊号から現在に至るまでの全てを展示しています。友愛の活動記録も、豊富な写真と共に収蔵されています。近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。そして、先人の遺業、現在の活動、未来への期待など、資料から読み解いて、のんびり一日をお過ごしください。(も)

2023年度派遣員事前研修会



早稲田大学 谷藤悦史 名誉教授



東北大学 戸澤英典 教授



派遣事業担当 西川伸起 理事



友愛ユニオン勉強会



当日インフルエンザで欠席 別日に研修を受講



特別講師 広島被爆者団体代表 田中聡司さん





謹賀新年

公益財団法人 友 愛



公益財団法人 友 愛 理 事
一般財団法人 人間塾 評議員

井 上 和 子

〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13
TEL03-5684-3188 FAX03-5684-3186

機能性セラミックスの用途開発と磁器の芸術を追究する岩尾グループ

IWA O 十四代岩尾 對山 窯

代表取締役社長
岩 尾 慶 一

岩 尾 磁 器 工 業 株 式 有 限 公 司 岩 尾 エ ン ジ ニ ヤ リ ン グ 株 式 有 限 公 司
佐 賀 県 西 松 浦 郡 有 田 町 外 尾 町 内 1436-2 佐 賀 県 西 松 浦 郡 有 田 町 大 樽 2 丁 目 1 番 5 号
TEL 0955-43-2111 FAX 0955-42-5205 TEL 0955-42-5841 FAX 0955-43-2661

ホームページアドレス <http://www.iwao.co.jp/>

VIA X
FOR CREATIVITY AND HUMANITY

代表取締役社長
西 門 直

株式会社 ヴィアックス

本 社 東京都中野区弥生町2-8-15 〒164-0013
TEL:03(3299)6010 FAX:03(3299)6004
本 郷 本 部 東京都文京区本郷4-9-25 真成館ビル 〒113-0033
TEL:03(3815)3788 FAX:03(3815)3135
URL <https://www.viax.co.jp>

ご婚礼・ご宴会・レストラン・ケーキタリング
上野の森の結婚式場

上野精養軒

〒110-8715
東京都台東区上野公園4-58 JR上野駅公園口・京成上野駅…徒歩5分
TEL 03-3821-2181代 FAX 03-3822-1330 <http://www.seiyoken.co.jp>

公認会計士 税理士

小 林 広 治

ASKUL AGENT
アスクルエージェント

オフィス用品通販 No.1
アスクルの法人登録は当社にご用命下さい。

株式会社 重 松 商 事

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-12-21
ディアシティ 赤坂西館 5F
TEL:03-3588-1501 FAX:03-3588-1321

上毛資源株式会社

取締役
会 長 佐 伯 詔 一

〒371-0857 群馬県前橋市高井町1-13-4
TEL027-251-7395 FAX027-251-7337
URL: <http://www.j-shigen.co.jp>

株式会社 ニッセーデリカ

会 長 川 手 正 一 郎

World Cultural Tradition Foundation

公益財団法人
世界文化伝承財団

理事長
内 田 由 利 子

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-2-3
アライヴ人形町
☎ 03-3249-6788 FAX 03-5695-0125
☎ 090-3042-7818
web site : <http://djkg.org/>
email : yuchida@djkg.org

京橋業務外包有限公司
提供在日商务服务

业务内容：会計，
労 務 ， 公 司 成 立 ，
签 证 等 行 政 业 务

kyobashitax

公益財団法人 友 愛

評議員 萩 原 直 三

〒154-0003 世田谷区野沢2-33-5-1107

「建築100周年」

鳩 山 会 館

<http://www.hatoyamakaikan.com>
文京区音羽 1-7-1

東アジア共同体研究所
East Asian Community Institute/World YUAI Forum

世界友愛フォーラム

理事長 鳩 山 由 紀 夫

毎夕新聞印刷株式会社

代表取締役
会 長 川 島 毅

〒113-0022 東京都文京区千駄木3-45-2
TEL03-3823-8511
FAX03-3822-0304

あなたの気持ちを印鑑にそえて
はんこのプレゼント

大切なもの
大切なお人へ
Present

山崎印房
山崎 山崎
ふみ みやこ
文の京にふさわしいこだわりと心

山崎印房 印 章 ・ ゴ ム 印
有 限 公 司 感 謝 状
表 彰 状
の 筆 耕

〒113-0033 東京都文京区本郷4-17-5
Tel.03-3811-2876 Fax.03-3816-4759

公益財団法人 友 愛

理事長 鳩 山 由 紀 夫

〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13
TEL03-5684-3188 FAX03-5684-3186

LIVECAST Since1996

Made with Passion

情熱 × デザイン で
Webサイトを制作します

ライブキャスト株式会社
東京都港区南青山4-16-3 南青山オークビル3F
www.livecast.co.jp

公益財団法人 友 愛

理 事 攪 上 哲 夫

〒112-0002 東京都文京区小石川 1-10-13
TEL03-5684-3188FAX03-5684-3186

公益財団法人 友 愛

理 事 井 田 安 信

〒112-0002 東京都文京区小石川 1-10-13
TEL03-5684-3188FAX03-5684-3186

公益財団法人 友 愛

理 事 西 川 伸 起

〒112-0002 東京都文京区小石川 1-10-13
TEL03-5684-3188FAX03-5684-3186



サロンホール



外観

(掲載順不動)

2023年夏、北海道栗山町にオープン 友愛ファームゲストハウス

北海道夕張郡栗山町鳩山 538 番地
TEL 0123-76-9810/FAX 0123-76-9809
ゲストルーム 6 室、大浴場、サロンホールを備えています。
<https://www.yuai-farm.com>



宿泊予約等の
詳細はこちら



「あけましておめでとう」という言葉もはばかられる年初めであった。元旦の能登半島地震、二日の羽田空港衝突事故と続き、三日には「これ以上何も起こらないでくれ」と思った人も多かったのではないだろうか。▼能登半島地震の方は、日が経つにつれ甚大な被害が明らかになってきたが、三週間を過ぎても全容は、ななやかたていない。特に、珠洲市や輪島市など半島北部は、ようやく本格的な調査に取りかかり始めた段階のようだ。道路の陥没や法面の崩壊が多発し、救助や復旧に向かう緊急車両の通行にも支障を来している。もともと市町村道が幹線となっており、道路の老朽化が著しい状況だったという。▼羽田衝突事故については、直接の原因は何らかの連絡ミスだろうが、背景にあることは間違いない。観光立国を標榜し、それに対応するため都心上空を低空で飛ぶ二本の新ルートを開闢するなど羽田空港を拡張しつつも、管制官数はむしろ減っていたという。▼双方の背景として共通するのは経済効率性を強いられる「縮小ニッポン」の問題点である。過疎地の自治体は平成大合併により目が届かないほど広域となっており、都市部では人手不足の中でもインバウンド観光客相手に稼ぐことが求められている。▼週末、沿岸部の温泉施設を訪れた。東日本大震災の復興事業の一つで、開業して一年半ほどになる。周辺では今なお復興工事の大型トラックが走り回っていることに驚いた。能登半島の復興・復興への道は、更に長く難しいものとなるだろう。（ヒゲ）

友愛時評